

令和4年度小学校国語

問題番号	問題の概要	課題のある内容	学習指導要領の内容	対策例の概要（報告書等より）	関連する問題	参考	学年	時期	関連する主な教材（光村図書）
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、実線囲みの部分でどのように話すかを書く。	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる。	思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くこと	話し合った後で考えをまとめる際には、様々な視点から検討したことを踏まえて、自分の考えをまとめることが求められる。話し合いを始める際に話し合いの目的や方向性を検討すること、話し合いの展開や内容を踏まえて互いの意見を整理すること等が重要である。 ※授業アイデア例 P1 参照	H30 B1三 H26 B1三	・R4報告書 P20～32 ・H30報告書 P52～59 ・H30授業アイデア例 P4 ・H26報告書 P48～57 ・H26授業アイデア例 P9～10	5年 5年 6年 6年	9月 10月 9月 10月	どちらを選びますか よりよい学校生活のために いちばん大事なものは みんなで楽しく過ごすために
2二	物語から伝わってくることを考え、【森田さんの文章】の空欄Aに入る内容を書く。	人物像や物語の全体像を具体的に想像する。	思考力、判断力、表現力等 C読むこと	登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子等を表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方等を総合して判断することが必要である。また、物語の全体像は、登場人物や場面設定、個々の叙述等を基にした物語の世界や人物像等を豊かに想像したり、登場人物の相互関係を手掛かりにして考えたりして捉えることが大切である。 ※課題のみられた問題 P3 参照 ※授業アイデア例 P5 参照		・R4報告書 P33～47 ・富山県特徴的な問題 P1 (5月配布)	5年 5年 5年 5年 6年 6年 6年 6年 6年 6年	4月 9月 1月 3月 4月 4月 9月 9月 12月 1月 3月	なまえつけてよ たずねびと 生活の中で詩を楽しもう 大造じいさんとガン 春の河／小景異情 帰り道 せんねん まんねん やまなし 狂言 柿山伏／「柿山伏」について 詩を朗読しようかいしよう 海の命
2三	【山村さんの文章】の空欄Bに入る内容として適切なものを選択する。	表現の効果を考える。	思考力、判断力、表現力等 C読むこと	表現の効果を考えると、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくことである。感動やユーモア等を生み出す優れた叙述、暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現等に着目して読むことを指導する。 ※授業アイデア例 P5 参照	R2 3四 H30 A4	・R4報告書 P33～47 ・富山県特徴的な問題 P2 (5月配布) ・R2解説資料 P28～35 ・H30報告書 P32～35	5年 5年 5年 5年 6年 6年 6年 6年 6年 6年	4月 9月 1月 3月 4月 4月 9月 9月 12月 1月 3月	なまえつけてよ たずねびと 生活の中で詩を楽しもう 大造じいさんとガン 春の河／小景異情 帰り道 せんねん まんねん やまなし 狂言 柿山伏／「柿山伏」について 詩を朗読しようかいしよう 海の命
3一	【文章2】の点線囲みの部分を、どのようなことに気を付けて書いたのか、適切なものを選択する。	文章全体の構成や書き表し方等に注目して、文や文章を整える。	思考力、判断力、表現力等 B書くこと	書く相手や目的に応じて自分が書いた文章を読み直し、整えることができるように指導することが大切である。その際、読み手にとって分かりやすい文章にしたり、自分の伝えたいことをより明確にしたりすることを意識し、推敲する必要性を感じるができるようにすることが重要である。 ※課題のみられた問題 P2 参照		・R4報告書 P48～64	5年 5年 6年 6年 6年	6月 2月 6月 1月 2月	日常を十七音で 伝える表現を選ぼう たのしみは 人を引きつける表現 思い出を言葉に
3二	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く。	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。	思考力、判断力、表現力等 B書くこと	伝え合う経験を積み重ねていくことで、自分の文章のよいところを見付けたり、それを言葉で表したりできるようにすることが重要である。自分が書いた目的や意図を相手に伝えたり、感想や意見を具体的に伝え合ったりすることができるように指導する。 ※課題のみられた問題 P1 参照 ※授業アイデア例 P12 参照		・R4報告書 P48～64 ・富山県特徴的な問題 P3 (5月配布)	5年 5年 5年 6年 6年 6年	6月 12月 2月 6月 12月 2月	日常を十七音で あなたは、どう考える この本、おすすめます たのしみは 大切にしたい言葉 思い出を言葉に
3三ア 3三イ 3三ウ	【文章2】の中の下線部ア、イ、ウを、漢字を使って書き直す。 (ろくが) (はんせい) (したしむ)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。	知識及び技能 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項	当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うよう指導する。同じ漢字を繰り返し練習することにとどまらず、学習において感想や振り返りを書く場面や、日常生活において日記を書く場面等で漢字を使うことを意識した取組が必要である。その際、同じ部分をもつ漢字や同じ読み方をする漢字に注意して書くことを指導することが大切である。	H28 A1二2	・R4報告書 P48～64 ・H28報告書 P25～27	全学年	通年	各教材

対策のヒントに掲載した調査問題は、学力向上推進チームHPに設問別ワークシートとして掲載しています。

令和4年度全国学力・学習状況調査の問題のうち、本県児童生徒に課題がみられた問題に関して、その概要及び「授業アイデア例」等のページや教科書の関連単元等をまとめました。各学校の実態に応じて活用してください。